



開発技建株式会社

総務部 樋浦慎氏

所在地

新潟県新潟市文京町22-21

業務内容

- ・ 道路交通に関する調査・解析
- ・ 道路整備の必要性や整備効果分析・評価
- ・ 交通事故対策
- ・ 道路円滑化事業 ほか

導入製品

TREND MICRO
InterScan
Gateway Security Appliance™



「情報セキュリティの視点だけでなく、総務部としての『リスク管理』の視点から見ても、ゲートウェイ対策の強化は重要です。」

ウイルス対策の現状 ~ クライアントとゲートウェイの両面に対策

▼開発技建株式会社（以下、開発技建）の業態を教えてください。

開発技建は、新潟を拠点とする、社員数約100人の建設コンサルタント会社です。土木構造物の計画、設計や、道路建設に先だって必要となる交通量の推計などが主な業務です。

▼開発技建の現在のウイルス対策状況および、樋浦様のウイルス対策への関わりをお聞かせください。

ウイルス対策は、クライアント（約100台）と、ゲートウェイの両面から行っています。ゲートウェイは、Trend Micro InterScan Gateway Security Appliance（以下 IGSA）で対策しています。IGSAにより、SMTP、HTTP、FTP、POP3へのウイルス対策の他、URLフィルタリングやスパムメール対策も行っています。

弊社には専門の情報システム部はありません。私自身は、現在、総務部に在籍しています。かつて17年間システム開発に携わっていた経験があるので、社内のネットワーク管理やセキュリティ対策も任されていますが、メイン業務は、あくまでも総務。情報システムの仕事はサブ業務です。

ゲートウェイ対策に本格的に取り組むようになった経緯

▼開発技建がゲートウェイ・ウイルス対策に本格的に取り組むようになった経緯をお聞かせください。

2000年頃から、お客様へのレポートを紙ではなく、CD-ROMで電子納品する機会が増えてきました。その電子納品するCD-ROMへ納品前のウイルス検査を施すために、

クライアント・ウイルス対策ソフトを導入しました。しかし、ウイルス対策が不十分な会社から時折ウイルスメールが送られてきます。そこで、クライアント対策だけでは心もとないこともあり、2004年、ウイルスメールへの対策をより完全にするために、プロバイダのウイルスチェックサービスを導入しました。そして2006年11月にゲートウェイ対策をより強固にするために、IGSAを導入しました。

なぜプロバイダのウイルスチェックだけでは不十分か

▼社員100人ぐらいの会社の場合、ゲートウェイ対策は、プロバイダのウイルスチェックサービスだけで十分だと考える会社も少なくありません。なぜ御社はIGSAを導入したのですか。

IGSAを導入したのはセキュリティの強化を図ってのことです。そして、「セキュリティを強化する」という言葉には、2つの側面があります。1つは、「純システムの意味のセキュリティの強化」。もう1つの側面は「総務部としてリスク管理への備えを固めること」です。

まず「純システムの意味のセキュリティの強化」ですが、以前、弊社の社員が、著名なフリーソフトウェア専門サイトから、土木計算関連のソフトウェアをダウンロードしました。そのソフトウェアには、ボット系の「トロイの木馬」が付着していました。幸いにも感染に気づくのが早く、実被害はありませんでした。それでも、強い危機感を感じました。これはもう、プロバイダのウイルスチェックだけでは絶対に不十分だなど。そう考えて、IGSAを導入し、HTTP、FTP、POP3などへのウイルス対策を強化しました。

次に「総務部として「リスク管理」への備えを固めること」ですが、「外部からの訴えに備える、理論武装すること」もリスク管理の1つです。例えば、弊社のサーバが踏み台にされて、他の会社に迷惑をかけた場合、実際に賠償を払うことになるかどうかは別として、賠償責任を問われる可能性はあり得ます。その時に「弊社ではセキュリティには十分に注意を払っています」というだけでは抗弁しづらい。やはり、クライアントの他に、ゲートウェイにも、実際の形ある機器を設置して、想定できるプロトコルをすべてチェックしている状態を作ること。そこまでやって、はじめて抗弁が可能になります。

また最近では平時であっても、国土交通省など、弊社のお客様より、「開発技建では、ウイルス対策はどういうレベルで行っているのか。何の製品を使っているのか」とお問い合わせがあります。その時、名の知れた信頼できるメーカーの製品を使っているという説明の方が、相手に分かりやすく、また、非常時の説明（抗弁）も容易です。

開発技建がIGSAを選んだ理由

▼開発技建が、トレンドマイクロのIGSAを選んだ理由は何ですか。

理由は3つあります。第一に、SMTP, HTTP, FTP, POP3など全てのプロトコルを1台のクライアントで検査できること。これによりセキュリティが大幅に強化できます。第二に、トレンドマイクロという大手会社の製品であるということ。このことは、取引先その他への、開発技建のセキュリティ体制の説明を容易にします。第三に価格。100万円を切る手頃な価格であり、経営者への説明も容易でした。

使ってみてわかったIGSAの予想外の良さ

▼「使ってみてはじめて分かったIGSAの良さ」があればお聞かせください。

以下の3つです。

1. URLフィルタリング

社員に対し、良からぬサイトを「見に行ってはならない」という「べき論」、「精神論」ではなく、良くないサイトは最初から見に行けないようシステムで制限されている方が望ましいと言えます。IGSAのURLフィルタリングにより、有害サイト閲覧のリスクが大幅に減りました。

2. スпамメール対策<コンテンツ検索>

(以下、スパムメール対策)

以前から、朝メーラーを開いたとき、スパムメールが50通、本当のメールが5、6通ということはありませんでした。しかしIGSAのスパムメール対策により、スパムメールの件名には「SPAM」の印が付加されています。その印さえあれば、メーラーのフィルタリング機能などにより、受信と同時にスパムメールを別フォルダに移動できます。この仕様は、社員にも大好評です。皆、スパムメールで困っていたようです。

3. 設置・運用が楽

IGSAは、IPを持たない透過型の製品なので、仮に障害が起きたとしても、IGSAをいったん外してケーブルをつなぎ直せば、ネットワーク通信は途絶えません。またディスククラッシュ時にも、ディスクレスモードで動作できるということでした。このようにシステムを止めない工夫がいろいろあることには安心感があります。また設置や運用についても、アプライアンスなので大変楽です。

*IGSAは標準でLANバイパス機能も装備しています。

IGSAはどんな会社に向いているか

▼IGSAはどんな会社に向いていると思いますか。

「ネットワーク接続が落ちると仕事ができなくなる会社」には向いていると思います。システムを止めない工夫がいろいろとあるからです。また、弊社のように専任のシステム管理者がいない会社にも向いていると思います。様々なセキュリティ機能がオールインワンで入っており、よくまとまっていて便利です。

トレンドマイクロへの期待

▼トレンドマイクロへの今後の期待をお聞かせください。

企業としてのリスク管理、説明責任を全うするためにも、セキュリティ対策はおろそかにできません。しかし、システム管理の仕事を、総務業と掛け持ちで行うのはなかなか大変です。そんな立場にいる私にとってはIGSAは心強い仕様の製品です。トレンドマイクロは、今後も、技術とサポートに磨きをかけて、中堅・中小企業のセキュリティ強化に役立つ、優れた製品を作り続けてください。期待しています。

—— 今日貴重なお話を有難うございました。